



# 多様なルーツ、多様な未来

あなたの未来のヒントがここにある

2026年2月作成



本ツールは文部科学省事業「外国人生徒のキャリア支援等に関する調査研究」  
(受託:三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)の一環として作成しています。

当時の私にたくさん言葉をかけてくださり、さまざまなことにチャレンジさせてくださった先生方には、感謝してもしきれません。先生方のおかげで、楽しく学生生活を終えることができたと思います。

また、困ったときには真っ先に手を差し伸べてくださる先生方の温かさに、何度も心を救われてきました。このような先生方と出会えたことは、今の私にとって大切な財産です。

自分の夢を叶えることができたのも、先生方からの助言があったからこそだと感じています。学んだことや経験させていただいたことを糧に、これからも成長していけるよう、精一杯頑張っていきます。

先生が私を見捨てずに支えてくださったことを、本当に感謝しています。

遅刻が続いたり、成績が悪くて単位が取れそうにないときも、先生が何度も他の教科の先生に頼んでくださり、そのおかげで卒業できたと思います。

学校に行けない時期も、毎日「大丈夫か」と声をかけ、話を聞いてくださいました。こんなに親身になってくれる先生はいないと思っています。

そんな先生の気持ちに応えられるよう、これからは仕事や保育士試験に一生懸命取り組み、自分の目標を一つづつかなえていきたいです。

先生方の一つひとつの声かけや進路への助言が、私の人生の選択肢を大きく広げてくれました。

自分一人では見えなかった可能性を示してもらえたことで、前に進む勇気を持つことができました。

支えてくれる大人の存在があることで、子どもは困難な状況の中でも夢を描けるのだと実感しています。

今度は私自身が、生徒一人ひとりの可能性を広げる存在になりたいと考えています。

当時、私と真剣に向き合ってくれた先生、本当にありがとうございました。「本多君ならできるよ!」という前向きな言葉は、今でも心に残っています。その言葉に背中を押していただいたおかげで、今は幸せな家庭を築くことができます。

これまで温かく応援してくださった先生方、そして支援者の皆さまに、心より感謝申し上げます。先生方のおかげで、自分の可能性を信じて行動することや、目標に向かって前向きに挑戦できるようになり、少しずつ自分に自信を持てるようになりました。

学校での学びや学校生活でのさまざまな経験を通して、学ぶ意欲や挑戦する姿勢が身につく、自分自身の成長を強く感じています。いつも寄り添い、励ましてくださった先生方の存在が、今の私を支えています。本当にありがとうございました。

高校生の時の剣道部の顧問は、とても怖くて厳しい先生で、たくさん怒られてきました。しかし、そのおかげで社会に出た時に、恥ずかしい思いやつらい思いをせずに過ごせていると感じています。

今では、あの厳しい指導にとても感謝しています。

## Thank you for Everything!

今の私があるのは  
みなさんのおかげです

先生方のおかげで、日本語能力試験や英検に挑戦する自信を持つことができました。

大学では外国人スピーチコンテストに出場し、「鈴鹿国際交流協会賞」を受賞することもできました。

また、小学校や中学校で行われていた少人数の取り出し授業のおかげで、自分の学力レベルに合った形で教科を学ぶことができました。日本での学校生活やマナーについても、いつも温かく丁寧に指導いただき、心より感謝しています。

僕がここまで来られた理由の一つは、〇〇高校の先生方のサポートのおかげです。心の底から感謝しています。本当にありがとうございました。

先生たちに恵まれたおかげで今の人生があると思っています。日本語がわからない状況で日本の学校に入学した際に、授業を支援したり、親にいろんな学校の制度を説明してくれた通訳の先生。

ブラジルに一時帰国する際に飛行機で読むための本を買ってくれた担任の先生。放課後質問しに行っても優しく答えてくれた先生。たくさんの先生たちにお世話になりました。日々、児童生徒に一生懸命向き合ってくれる先生たちに深く感謝しています。

先生方のおかげで、今の自分があり、ここまで成長することができました。学業面はもちろんのこと、人との関わり方や日本での生き方など、人生において大切なことを数多く学ばせていただきました。

大学進学に向けた準備では、遅くまで親身になってご指導くださり、その支えがあったからこそ今の私があります。

そして、卒業後も変わらず関わりを持っていただけていることに、心から感謝の気持ちでいっぱいです。

先生方との出会いは、私にとってかけがえのない宝物です!これからも学んだことを胸に、一步一步成長していきたいと思っています。

先生方や学校の皆様には、心より感謝申し上げます。高校時に開かれた日本語学習講座や国際交流イベントのおかげで、日本語力を磨き、自動車整備の専門用語も身につけることができました。

〇〇学校では、現場で役立つ技術を丁寧に教えてくださり、〇〇への就職も実現しました。現在は整備士として日々成長していますが、これらは皆様の支援なくして達成できなかったことです。

今後も学んだ技術を活かし、トヨタグループの資格取得を目指し、皆様の期待に応えられるよう精進します。

〇〇先生、〇〇先生へ  
当時、外国人児童がまだ少なく、まったく日本語がわからなかった私に、根気よく日本語の基礎などを教えていただき、本当にありがとうございました。

〇〇先生へ  
小学校高学年の頃、さまざまな壁にぶつかっていた私をたくさん支えてくださり、乗り越えることができました。心から感謝しています。

〇〇さんへ  
日本で生活する上で、両親と私へのサポートはなくてはならないものでした。本当にありがとうございました。

## 「自分らしい未来」を描くために



この冊子は、外国にルーツのある若者たちが、正社員として社会で活躍している姿を紹介しています。言葉や文化のちがひ、進学や就職への不安など、みなさんと同じような悩みを経験してきた先輩たちです。

現在、日本の高校で学ぶ外国にルーツのある生徒は増えています。しかし、高校卒業後の進学や働き方について十分な情報を得られず、不安定な仕事に就く人が少なくありませんでした。一方で、日本社会は人口減少や労働力不足が進み、多くの企業が国籍に関わらず人材を求めています。

日本の社会状況や進学、安定した働き方について理解を深め、自分の目標に向けて準備を重ね、夢をかなえてほしいと思います。

進路に迷ったとき、「自分にもできるのかな」と不安になることがあるかもしれません。そんなとき、この冊子に登場する先輩たちの歩みや言葉が、みなさんの未来を考えるヒントになればうれしいです。

多様なルーツを持つことは、決して弱みではありません。それぞれの経験を力に変えながら、「自分らしい未来」を描いていってください。

自動車メーカー/ 設備管理	p.03
技術者派遣会社/ フィールドエンジニア	p.04
高等学校教諭	p.05
電機ガス会社 / 事務系総合職	p.06
社会福祉協議会 / 相談支援員・通訳	p.07
試作・エンジニアリング会社/ 事務系総合職	p.08
産業機械保守会社 / 機械整備士	p.09
自動車販売会社 / 自動車整備士	p.10
半導体会社 / 半導体製造	p.11
自動車部品会社 / 設計	p.12
美容師	p.13
保育士	p.14



ルーツ	ペルー
来日年	7歳
高校	〇〇工業高等学校 2005年3月卒業
進学	〇〇大学 理工学部
就職先	自動車メーカー

Q. ペルーではどんな環境でしたか？

週末は近所の人や親戚に囲まれてにぎやかに暮らしていた。



Q. 来日後はどうでしたか？

日本人の子どもと仲良くなりたくてサッカースポーツ少年団に入団！

## 自己紹介

1986年にペルーのリマで生まれ、小学1年生の10月に来日しました。特別学級と通常学級を行き来しながら、日本語を少しずつ身につけました。その経験が、学校生活に慣れる自信につながりました。

## 学生時代

### ● 高校時代にやって良かったこと

高校時代は、定期試験前にわからないところをなくしてから試験に取り組み、進路の選択肢を広げることができました。また、アルバイトを通してお金の管理や社会との関わりを学び、その経験は、今の仕事でチームとして働く力につながっています。

### ● 学生時代に頑張ったこと

高校時代は、将来の進路を広げるため勉強をがんばり、よい成績を取り続けることを目標にしていました。進学に備えてアルバイトと学業を計画的に両立しました。

大学では授業についていくのが大変でしたが、貯金や奨学金、家族の支えで卒業できました。大変な時ほど、健康な体とあきらめない気持ちが必要だと感じました。

## 現在

### ● 仕事の内容

現在は、自動車メーカーの鈴鹿製作所で、完成車組み立て工場の設備管理を担当しています。専門知識や資格、安全管理の理解が必要な仕事です。部下の確認や計画・予算管理、トラブル対応などを行っています。

### ● 今の仕事を選んだ理由

これまで学んできた工業系の知識に加え、外国で育った経験や多言語の力を生かせると考え、今の仕事を選びました。

進学のお金は不安が大きく、奨学金を返していけるのか強いプレッシャーがありました。そのため、大学卒業後は正社員として働く道を選び、新卒採用に挑戦し、自分にとって一番成長できる企業を目指して努力しました。

### ● これからの目標

自分の知識や経験を生かして課題を乗り越え、成長し続けることです。また、チームを支えながら安全に仕事を進めることにやりがいを感じています。

支えてくれた方々への恩返しとして、次世代の子どもたちに経験を伝え、社会に役立つ活動を広げていきたいです。

## 後輩へメッセージ

“健康と時間”という大切な財産を守りながら、どう自己実現していくかを考えることが大切です。そのために、先輩や大人から話を聞き、自分の将来を思い描いてほしいと思います。

今は世界中の情報に簡単に触れられる時代です。必要な情報を自分なりに選び、自分だけの目標を楽しみながら見つけていくことを願っています。



ルーツ	ブラジル
来日年	4歳
高校	〇〇高等学校 2010年3月卒業
進学	〇〇情報外国語 専門学校
就職先	半導体、システム等 技術者派遣会社

## 自己紹介

4歳のときに来日し、そのまま日本の保育園に入園しました。最初は日本語が話せず、日本の食事にもなじめませんでした。両親は共働きで、ひとりで過ごす時間も多く、孤独を感じる事が多く、毎日がとてもつらかったです。父とは家で日本語を使うようにし、少しずつ日本語が上達していきました。学校生活にも次第に慣れていきましたが、心のどこかで孤独感が残っていました。

高校に入ってから、気の合う友達ができることをきっかけに、気持ちが前向きになり、毎日をポジティブに過ごせるようになりました。

## 学生時代

### ● 高校時代に頑張ったこと

高校ではテニス部に所属し、厳しい練習や指導に最後まで取り組みました。部内で一番体力がなく、練習は本当にきつく、途中で投げ出したいと思うこともありましたが、それでも続けられたのは、支え合いながら一緒に成長できる仲間がいたからです。切磋琢磨する時間が楽しく、努力を重ねた結果、個人戦で優勝することができました。

### ● 学生時代にやって良かったこと

近所のスーパーでアルバイトをしたことです。接客や人間関係、上司との関わり方など、多くの社会性をこの経験から学びました。このアルバイトで身につけたことは、今の自分の大切な土台になっています。

### ● もっとやっておいたら良かったこと

今振り返ると、もっと勉強しておけば良かったと思います。勉強は成績のためだけでなく、自分の選択肢を広げ、考える力を身につける大切なものだと感じています。

## 現在

### ● 仕事の内容

半導体製造装置のエンジニアをまとめるリーダーとして働いています。お客様からの技術的な問い合わせへの対応や、現場でのトラブル対応を行うほか、作業の段取り、報告書や各種資料の作成などを担当しています。

職場の雰囲気はとても良く、「外国人だから」という壁を感じたことはありません。むしろ、外国籍であることを前向きに受け入れてくれていると感じられる、働きやすい環境です。

### ● 今の仕事を選んだ理由

難しそうだけれど面白そうだと感じたことが、今の仕事を選んだ一番の理由です。論理的に物事を考えることが得意だったため、自分に合っていると思いました。

不安だったことは進路を決める際、「この選択は本当に正しいのだろうか」という漠然とした不安がありました。しかし当時の先生が「本多君ならできるよ！」と前向きに背中を押してくれたことで、一歩踏み出すことができました。

### ● 仕事でやりがいを感じる時

装置を修理し、お客様から「ありがとう」と言っていただけ瞬間に、大きなやりがいを感じます。

### ● これからの目標

家族(妻と子ども2人)みんなが幸せに暮らせるようにすること。そして、将来は独立し、自分の力で生きていけるようになること。

## 後輩へメッセージ

「未来に正解はありません。自分が歩んだ道を正解にしていくものです。」直感を大切に、信じた道を思いきり進んでください。



ルーツ **ブラジル**

来日年 **10歳**

高校 **〇〇高等学校  
2013年3月卒業**

進学 **〇〇大学  
外国語学部**

就職先 **〇〇高等学校**

### 自己紹介

私は10歳の時に日本に来ました。来日当初はブラジル人学校に通い、将来はブラジルに帰る予定でしたが、リーマンショックの影響で父が失職し、日本で暮らし続けることになりました。

中学2年生の3学期に日本の学校へ転校しましたが、日本語が分からず苦しい日々が続き、「進学できる高校はない」と思い込んでいました。そんな中で出会った〇〇高校が、私の人生を大きく変えました。入学後は日本語の習得に必死に取り組み、関西大学へ進学・卒業しました。

卒業後は国際関係の仕事に就き、コロナ禍をきっかけに教員免許を取得。現在は教壇に立ち、3年目を迎えています。

## 学生時代

### ● 高校時代に頑張ったこと

日本語の習得です。授業についていけず、周囲と同じように話せないことに強い不安を感じていました。特に、テストや進路を考える時期には、「自分には未来がないのではないかと」悩むこともありました。

それでも、分からないことをそのままにせず、先生に質問したり、友達に教えてもらったりしながら乗り越えてきました。支えになったのは、「今できなくても、努力すれば必ず伸びる」という先生の言葉です。その言葉のおかげで、諦めずに挑戦し続けることができました。

### ● 学生時代にやって良かったこと

勉強だけでなく、自分の得意分野を伸ばしたことです。勉強はもちろん大切ですが、それに加えて「自分の強み」をつくるのが将来につながると感じました。

私は英語が得意だったため、ESS部に所属し、スピーチコンテストなどにも挑戦しました。その経験を通して、人前で伝える力や、自分の考えを言葉にする力が身につきました。また、ボランティア活動では多くの人と関わり、さまざまな価値観に触れることで視野が広がりました。

これらの経験は、国際関係の仕事だけでなく、現在の教員としてのコミュニケーション力にもつながっています。

### ● もっとやっていたら良かったこと

日本語の習得だけでなく、日本の文化や習慣をもっと理解しようとしておけば良かったと感じています。言葉は話せるようになって、文化を知らないことで、大学や社会人になってから戸惑う場面が多かったです。

当時は目の前の勉強に必死でしたが、学校行事や地域活動、人との関わりを通して学べるものがたくさんあったと、気づきました。もし高校時代の自分に声をかけられるなら、「言葉だけでなく、その国の文化も一緒に学ぶことが大切だよ」と伝えたいです。それが、将来の人間関係や社会で生きる力につながると思います。

## 現在

### ● 仕事の内容

現在は高校の教員として勤務し、3年生の担任と女子バスケットボール部の副顧問を務めています。教員の仕事は決して簡単ではなく、毎日ハードな日々が続きますが、その分大きなやりがいを感じています。特に卒業を控えたこの時期は、生徒の進路や生活に教員の言葉が大きな影響を与えるため、一つ一つの関わりに責任をもって向き合っています。

また、外国にルーツをもつ教員はまだ多くありませんが、その存在であることを誇りに思っています。自分の姿が、これからの若い世代にとって希望や目標につながればと願っています。

### ● 今の仕事を選んだ理由

私は、外国にルーツがあることで、本当に教員になれるのか強い不安を感じていました。また、担任を持った際に、保護者の方からどのように見られるのかという心配もありました。しかし実際には、周囲は私を「外国人」ではなく、「一人の教師」として受け入れてくれました。その経験から、自分の背景は弱みではなく、強みになるのだと気づきました。これからは経験を積み重ね、よりよい指導ができる教員へと成長していきたいと考えています。

### ● 仕事でやりがいを感じる時・これからの目標

仕事の中で最もやりがいを感じる瞬間は、英語が苦手だった生徒が「少し分かるようになった」「話せるようになった」と自信を持ってくれる時です。できなかったことができるようになる過程に寄り添えることが、教員として何よりの喜びです。

担任や部活動を通して、生徒一人一人と深く関わる中で、私自身も指導力や人間力が成長していると感じています。これからはさらに経験を積み、学習面だけでなく心の面でも支えられる教員になりたいと考えています。将来は、外国にルーツをもつ子どもたちだけでなく、学習に不安を抱えるすべての生徒を支援できる教育に関わっていきたいです。

## 後輩へメッセージ

今、うまくいかないことや不安に感じていることがあっても、それで自分の可能性が決まるわけではありません。私自身、日本語が分からず進学を諦めかけた時期がありましたが、一歩ずつ努力を重ねることで道は開けました。

勉強はもちろん大切ですが、それと同時に、自分の得意なことや好きなことを大切に、伸ばして行ってほしいと思います。失敗を恐れずに挑戦する経験は、必ず将来の大きな力になります。

そして、高校生活の3年間で、自分の心に残る思い出をたくさんつくってください。皆さん一人ひとりには大きな可能性があります。自分を信じて、前に進んでください。



ルーツ	ブラジル
来日年	5歳
高校	〇〇高等学校 2014年3月卒業
進学	〇〇大学 外国語学部
就職先	電気・ガス会社

### 自己紹介

私はブラジル生まれの日系三世で、5歳の時に来日しました。最初は父が仕事のため単身で来日し、1年後に家族が合流しました。小学校に入学した頃の記憶はおぼろげですが、担任の先生がとても気にかけてくれたこと、同級生が「違う存在」として距離を取ることなく、休み時間や放課後に一緒に遊んでくれたことが強く印象に残っています。来日直後は、通訳の先生が授業を支えてくれ、外国ルーツの子ども向けに週数回の日本語指導もありました。夜には家族でボランティアの日本語教室に通い、先生の勧めで国語辞典やドリルを使って家でも勉強しました。何より、日本人の友達とたくさん遊び、話す中で日本語を身につけていきました。

## 学生時代

### ● 高校時代に頑張ったこと

いい大学に進学し、将来よい仕事に就きたいという思いから、高校時代は勉強に力を入れました。

志望大学が決まってからは、受験科目や配点、模試の結果を分析し、必要な対策を考えながら学習し、3年生の休日は1日10時間近く勉強することもありました。

一方で、親が日本語を話せなかったため、学校手続きや大学受験制度、学費について自分で調べて説明する必要があり、大変でした。分からないことは先生に相談し、親も夜食を用意するなど支えてくれました。特に「勉強に必要なお金は出すよ」という言葉が大きな励みになりました。

### ● 高校時代にやって良かったこと

部活動と勉強です。

部活動では、顧問や先輩との関係を築くことができ、社会人になってから上司や先輩と接する際にとっても役立っています。

また、勉強にしっかり取り組んだことで大学進学につながり、今の進路を選ぶ土台になりました。

### ● 高校時代にもっとやっていたら良かったと思うこと

今振り返ると、時間がたくさんあったので、もっと本を読んでおけば良かったと思います。当時の自分に声をかけるとしたら、今は仕事で資料作成など文章を書く機会が多いので、本を読んだり文章を書く経験を、できるだけたくさん積んでおくといいよ、と伝えたいです。

## 現在

### ● 仕事の内容

現在はインフラ会社の総合職として働いており、財務部で決算業務を担当しています。1日の主な業務は、メールチェックや会議への参加、資料作成、上司への報告などです。

職場の雰囲気はとても良く、外国にルーツがあることで特別に感じることは、いい意味でほとんどありません。困った時には助けてくれる、優しい人が多い職場だと感じています。

### ● 今の仕事を選んだ理由

大学時代にさまざまな就職セミナーへ参加する中で、日々の「当たり前」を支える会社で働きたいと感じたことが、今の進路・仕事を選んだきっかけです。

進路選択の際は、全国転勤や海外勤務を希望するのか、地元で働くのかなど、どこで働きたいのかという点で最も悩みました。また、両親が正社員ではなかったこともあり、正社員として働くことにずっと憧れがありました。給与や福利厚生の面でも魅力を感じており、そのために努力してきた本当によかったと感じています。

### ● これからの目標

仕事の中でやりがいを感じるのは、人の役に立てたと実感した時や、自分がその分野において社内で最も詳しい存在だと感じられた時です。また、自分がきっかけとなって、たとえ小さくても何らかの変化を起こせたときに成長を感じます。

今後は財務部で知識や経験をさらに積み、会社の海外事業拡大に貢献できる存在になることを目標としています。

## 後輩へメッセージ

将来どうありたいかをイメージし、そうなるために何が必要かを考えてみましょう。意外と、高校生のうちから努力できることは多いです。



ルーツ

ペルー

来日年

5歳

高校

〇〇高等学校  
2017年3月卒業

進学

〇〇大学

就職先

〇〇社会福祉協議会  
生活支援室



Q. 高校生活はどうでしたか？

これまでで一番楽しい学校生活でした。外国にルーツを持つ友達も多くでき、勉強のことだけでなく、いろいろな相談をし合える仲間に出会えました。国籍に関係なく、みんながフレンドリーで、安心して過ごせる環境でした。

## 自己紹介

私はペルーで生まれ、5歳のときに来日しました。日本語は小学校に通いながら身につけました。中学校では、とりだし教室で漢字を中心に学びましたが、学習内容が次第に難しく感じるようになりました。さらに中学2年生で約4か月間ペルーに帰国し、授業についていくのが大変になりました。一時は勉強への意欲を失い、高校進学は難しいと言われていましたが、英語を学びたいという思いから努力を続け、飯野高校に進学することができました。

## 学生時代

### ● 高校時代にがんばったこと

中学校では勉強が苦手でつらい経験をしたため、高校では勉強を頑張ろうと決めました。赤点を取らないよう意識して学習に取り組み、1年生から3年生までコンビニでアルバイトをして接客を学びました。また、英検3級と日本語能力試験N2を取得しました。

### ● もっとやっておいた方が良かったこと

日本語の勉強をさらに続け、もう少し資格も取得しておけば良かったと思っています。

## 現在

### ● 仕事の内容

現在は生活支援室で、困っている方の相談を聞き、自立に向けた支援をしています。大学卒業前から四日市社会福祉協議会で通訳のアルバイトをしており、その経験を今の仕事に生かしています。

### ● 今の仕事を選んだ理由

両親はあまり日本語を理解できなかったため、私は小さいころから通訳をしてきました。

大学生の時も派遣で通訳の仕事を経験し、その中で人の役に立つことにやりがいを感じるようになりました。

### ● 仕事でやりがいを感じる時

相談者に寄り添い、市役所などに同行して一緒に解決策を考え、「ありがとう」と言ってもらえたときにやりがいを感じます。

### ● これからの目標

今後は福祉についてさらに学び、資格を取得して、より多くの人の役に立ちたいと考えています。また、生活支援室のことを多くの人に知ってもらい、外国の方も同じ言語で安心して相談できる環境をつくっていきたいです。

## 後輩へメッセージ

高校の時、先生から「N1を取ったほうがいい」と言われましたが、当時は面倒に感じてしまい、あきらめてしまいました。勉強は難しく大変ですが、わからないことは先生に聞きながら、あきらめずに続ければ、きっとよい将来につながると思います。



ルーツ                    ブラジル

---

来日年                    日本で生まれた

---

高 校                    ○○高等学校  
2019年3月卒業

---

進 学                    ○○大学

就職先 試作・エンジニアリング会社



## 自己紹介

7歳の時にブラジルへ帰り、ブラジル人学校のEASに通いました。中学3年生で日本に戻り、○○中学校の国際クラスで日本語を学び、○○高校へ進学しました。

高校卒業後は○○大学に入学しましたが、入学当初は新型コロナの影響でオンライン授業が続きました。3年生からは通学できるようになり、勉強とアルバイトを両立しながら充実した大学生を送り、卒業しました。

現在は「○○」で働き、外国語を生かして海外出張なども経験しています。

## 学生時代

### ● 高校時代に頑張ったこと

中学生の頃は恥ずかしがりやでしたが、高校では日本人の友だちと積極的に話すことを心がけました。

日本語の勉強にも力を入れ、日本語能力試験N1と英検準1級を取得しました。また、3年間バドミントン部に所属し、最終学年ではキャプテンを務めました。

### ● 大学進学を選んだ理由

英語の勉強を続けたいと思ったからです。母親に相談したら「チャンスがあるなら行ったほうがいいよ」と言って、背中を押してくれました。

本当は留学にも行きたかったのですが、コロナのために行くことができませんでした。

## 現在

### ● 仕事の内容

現在は、総合職として働いています。朝は体操や朝礼、清掃から始まり、メール確認や予定の確認を行いながら業務を進めています。定時は18時で、メリハリのある働き方ができています。

これまでに海外出張を2回経験し、3か国語を生かして通訳や資料の翻訳、英語での資料作成も担当しています。社内には外国籍の社員も多く、日本語教室や英語レッスンを受けられるなど、外国籍の人にとっても働きやすい環境です。

### ● 今の仕事を選んだ理由

就職活動では、航空会社や自動車関係の会社にも応募しました。自宅から通いやすく、語学力を生かして海外でも働ける会社を中心に探しました。

○○は車の部品の試作をしていて、海外との取引もあります。英語を活かせると思い、受けてみることにしました。

## 後輩へメッセージ

部活を引退する時、先生から「もう少し周りを頼ってもいいよ」と声をかけてもらいました。大学に入ってから先生と話す機会が減り、○○高校の先生方がとても身近な存在だったと感じています。みなさんも多くの人と話し、高校生の今しかできない経験を大切にしてください。

また、日本語能力試験や英検に早いうちから挑戦することもおすすめです。資格は進学や就職の際に、きっと力になります。



ルーツ            フィリピン

---

来日年            13歳

---

高 校            ○○高等学校  
                    2020年3月卒業

---

就職先           産業機械保守会社

### 自己紹介

子どもの頃、日本語が全く分からず、授業を受けるのにとても苦労しました。友達もなかなかできず、心細い気持ちで過ごしていました。しかし、「このままではいけない」と思い、日本語の勉強を頑張ろうと決意しました。

その結果、中学3年生の頃には友達もでき、授業にも少しずつついていけるようになりました。中学時代は思うようにいかないことも多かったため、高校ではそれを反転させたいと考えるようになりました。

### 後輩へメッセージ

「自分に自信を持とう！」

就職は、派遣ではなく正規雇用で働くことをおすすめします。部活動に限らず、どんなことでも継続することを大切にしてほしいです。続けてきた経験は、必ず自分の力になります。

## 学生時代

### ● 高校時代にやって良かったこと

部活動です。バドミントン部での厳しい練習を乗り越えた経験が、今の仕事の大変さを超える力になっています。また、恥ずかしがらずに日本語を積極的に使ってよかったと思っています。使わなければ上達しないと考え、意識して話すようにしていました。

もしバドミントンをやっていなかったら、つらいことに耐えられなかったと思います。部活に入らないという選択は、大きなチャンスを逃すことにもなると感じています。社会人になってからも、部活動で身に付けたメンタルの強さや体力は、大きく生かされています。

### ● 学生時代に頑張ったこと

高校では部活動(バドミントン部)を頑張りました。3年間続けたことで、継続力が身に付いたと感じています。また、ルービックキューブが好きで大会に出場し、そこで友達をつくったり、コミュニケーション力を身に付けることができたと思います。

思うようにいかないことがあったときには、卒業後の進路に対する不安やストレスを感じ、就職活動が大変でした。そんなときは先のことを考えるようにしました。「頑張って正社員になり、安定した生活を送る道」と、「頑張らずに派遣で働き、人生がうまくいかない道」の二つを想像し、自分を奮い立たせて前者を選ぶようにしていました。

支えになったのは、両親や高校の先生方の「やればできる」という言葉です。その言葉を信じて、今まで頑張ってくることができました。

### ● もっとやっておいたら良かったこと

遅刻や欠席をせず、きちんと学校に通っておけばよかったと思います。社会人になってから、遅刻や欠勤は信頼を失うことにつながると実感しました。今振り返ると、もっと意識して学校生活を送っておけばよかったと感じています。

## 現在

### ● 仕事の内容

現在は、機械の整備を行う仕事に携わっています。主に、コンピナートや工場、船のエンジンなどの点検や整備を担当しています。

### ● 今の仕事を選んだ理由

ルービックキューブやプラモデル作りなど、細かいものを作ることが好きだったからです。

高校卒業後、最初は四日市市内の会社に就職しましたが、自分には合わず退職しました。その後、派遣で働くようになりましたが、コロナ禍の影響で仕事が減り、収入も不安定になりました。

また、職場ではパワハラがひどく、殴られたり、上司からお金を貸してほしいと言われたりするなど、厳しい環境で働くこともありました。その経験から、安定した環境で、好きなことを生かせる仕事に就きたいと考えるようになりました。

### ● 仕事でやりがいを感じる時

チームワークを大切にする職場環境です。作業が終わっていない人がいれば、周りが自然に手伝い、みんなで最後までやり切る「仲間思い」の雰囲気があります。

また、自分が整備した機械が試運転で問題なく動いたときには、大きな感動や達成感を感じます。最近では、複雑な作業も一人で任されるようになり、4年前にはできなかったパソコン作業や現場での作業もこなせるようになりました。自分自身の成長を実感しています。

### ● これからの目標

今後の目標は、一つの分野を極めるスペシャリストではなく、どの分野にも対応できるジェネラリストになることです。



ルーツ	中国
来日年	16歳
高校	〇〇高等学校 2020年3月卒業
進学	〇〇専門学校
就職先	自動車販売会社

## 自己紹介

中国で生まれ、来日するまでは車に特別な興味はありませんでした。

16歳のとき、親の仕事の都合で日本に移住し、日本の高校に入学しました。

高校では日本語の授業や異文化交流イベントを通して、日本の技術力やものづくりに関心を持つようになりました。日本語は授業や日常会話の中で身につけ、進路が決まったら自動車整備に関する専門用語も学びました。

## 学生時代

### ● 高校時代にやって良かったこと

高校では、他の外国人留学生と一緒に日本語学習講座に参加し、日本語力を高めることができました。また、交流活動を通して日本の自動車産業の先進性に触れ、将来は技術分野で働きたいと考えるようになりました。

### ● 高校時代にもっとやっておいたら良かったこと

今振り返ると、もっと早く自動車技術の本を読み、日本人の友だちと車の話を積極的にすれば良かったと思います。

当時の自分には、興味のある分野には早くから触れ、日本語の勉強と専門知識を同時に学ぶことが大切だと伝えたいです。

### ● 学生時代に頑張ったこと

学生時代は、日本語力を高めることに全力で取り組みました。毎日、単語や文法、リスニングの練習を続け、高校在学中に日本語能力試験N2を取得しました。

来日したばかりのころは、日本語が十分に分からず、授業についていけなかったり、友達との会話がうまくできず孤独を感じることもありました。しかし、他の留学生と一緒に勉強したり、放課後に国際部の交流会へ参加したりして、日本語を使う機会を増やしました。担当の日本語の先生や留学生仲間の支えもあり、少しずつ自信を持てるようになりました。

## 現在

### ● 仕事の内容

愛知県にある自動車販売会社の自動車整備課で、整備士として働いています。日常的に車の点検や整備を行い、故障があった場合の対応も担当しています。職場では先輩方が細かな技術のポイントまで丁寧に教えてくれるため、毎日学びが多く、成長を実感できる働きやすい環境です。

### ● 今の仕事を選んだ理由

高校時代の交流活動を通して、日本の自動車技術の先進性に触れ、自動車販売会社の高い技術力に憧れて整備士を目指しました。

就職活動では、日本語力が足りるか不安に感じ、面接で緊張することもありましたが、挑戦することを選びました。NPTトヨタで長く働き、ハイブリッド車や電気自動車の整備技術を身につけていきたいと考えています。

### ● これからの目標

故障した車を直し、お客様が安心した表情を見せてくれる瞬間にやりがいを感じています。

入社当初は工具の使い方にも慣れていませんでしたが、今では基本的な整備作業を一人で任せられるようになりました。これからは、トヨタTOP GROUP資格の取得を目標に、さらに技術を磨いていきたいです。

## 後輩へメッセージ

新しい環境では、ぜひ積極的に挑戦してみてください。最初は興味があなくても、経験を重ねる中で関心が生まれ、それが将来の進路につながっていきます。



ルーツ                    フィリピン

---

来日年                    日本で生まれた

---

高 校                    ○○高等学校  
2021年3月卒業

---

就職先                    半導体会社



Q. どんな子どもでしたか？

フィリピンではおばあちゃんと暮らしていました。子どものころはバイクに興味があり、叔父と一緒にカスタマイズするのを楽しんでいました。また、木登りが大好きな活発な子どもでした。



Q. 高校生活はどうでしたか？

○○高校での生活は、人生で一番楽しい思い出です。勉強は大変でしたが、学校生活にはとても満足していました。特に修学旅行は、初めてみんなで飛行機に乗ったことや、移動や観光、食事まで、すべてが楽しい思い出です。

## 自己紹介

日本で生まれ、フィリピンで育ちました。母はフィリピン人、父は日本人です。3歳でフィリピンに帰国し、小学校を卒業するまで過ごしました。中学校から日本に戻り、日本語を一から学びました。

高校では日本語の勉強を続けながら、良い成績を保って学校生活を送りました。

現在は、好きな車に乗って旅行を楽しみながら、充実した毎日を過ごしています。愛犬と過ごしたり、恋人と旅行に出かけたりする時間が、最近の癒しとリフレッシュになっています。

## 学生時代

### ● 高校時代にやって良かったこと

高校では1年生から3年生まで良い成績を保ち、英検2級を取得しました。また、室長を3年間務め、生徒会長として体育祭や文化祭などの学校行事をみんなで企画し、取り組んだことが良い思い出です。

### ● もっとやっておいた方が良かったこと

漢字の勉強をもっとすれば良かったと思っています。

## 現在

### ● 仕事の内容

1日の仕事は、パソコンを使って欠陥<sup>けっかん</sup>の監視<sup>かんし</sup>や歩留まり<sup>ぶど</sup>の管理を行うことが中心です。必要に応じて現場に行き、不良製品の確認や対応もします。使用しているツールは英語表記が多く、英語力を生かして仕事ができる雰囲気<sup>きんぎ</sup>の職場です。

### ● 今の仕事を選んだ理由

就職先は最後まで悩んでいましたが、やりたいことが見つからず、就職アドバイザーの先生に相談しました。その際に紹介されたのがキオクシアです。会社について調べる中で、半導体を扱う日本を代表する企業だと知りました。

半導体はスマートフォンなど身近な製品に使われており、興味を持ちました。また、海外企業とのつながりも多く、英語を生かせると感じたことが決め手になりました。

### ● 仕事でやりがいを感じる時

周囲から信頼され、任せてもらえる仕事が増えた時、目標を達成出来た時、または人の役に立てたときにやりがいを感じています。

### ● これからの目標

新しい分野にも積極的に挑戦し、対応できる業務の幅を広げることを目標としています。また、業務改善の提案を積極的に行い、効率化や生産性向上に貢献していきたいと考えています。

## 後輩へメッセージ

不安になることもあると思いますが、今の気持ちに正直に向き合うことが一番大切です。すぐに答えが出なくても大丈夫です。一歩ずつ前に進めば、きっと自分に合った道が見えてきます。心から応援しています。



ルーツ ブラジル

来日年 3歳

高校 ○○工業高等学校  
2021年3月卒業

進学 ○○工業高等学校 専攻科  
電気工学

就職先 自動車部品製造業会社

## 自己紹介

私は2002年にブラジル・サンパウロ州で生まれ、3歳の時に親の都合で来日しました。来日直後は、周囲が知らない言語で話していることに不安や怖さを感じましたが、保育園での生活を通して少しずつ日本語を理解できるようになり、日本での暮らしにも慣れていきました。

小学校に入る頃には、日本語で友達と話し、遊べるようになりました。小学生の時は朝早く登校し、クラスみんなとドッジボールをする時間が好きでした。

家庭ではポルトガル語で会話していたため、宿題で分からないことがあると、担任の先生や友達に相談しながら学び、授業についていく努力を続けました。

## 学生時代

### ● 学生時代に頑張ったこと

小学校3年生から中学1年生までは、将来ブラジルに戻った時に授業についていけるよう、ブラジル学校に通いました。友達と別れて転校することはつらく、授業がすべてポルトガル語になったことで学習にも苦労しましたが、良い成績を取れば日本の学校に戻れると言われ、必死に勉強しました。中学2年生からは「カッコいい」という理由で剣道部に入りましたが、全国大会に出場する強豪校で練習は厳しく、初心者の方は何度も辞めたいと思いました。それでも仲間と続けた結果、努力が認められ、○○工業高校剣道部の推薦を受けて進学することができました。

### ● 高校時代にやって良かったこと

○○工業高校でも剣道部を続けました。中学以上に練習が厳しく、入部当初は推薦で入ったことを後悔したこともありましたが、踏ん張って続けました。その結果、3年生では剣道部の主将を務めることができました。高校卒業後は専攻科に進学し、就職活動では中学・高校6年間部活動を続け、主将を務めた経験を強みとしてアピールできたと感じています。厳しい部活を乗り越えたことで忍耐力が身につく、今では困難にも前向きに向き合えるようになりました。

### ● もっとやっておいたら良かったこと

今でも高校生に戻りたいと思うことがあります。何かをやり残した後悔というより、友達と遊んだり、恋をしたりした青春の時間がとても楽しかったからです。お金や車がなくて、門限もある中で、工夫しながら遊ぶ時間は今でも大切な思い出です。制限がある中でも思いきり楽しむことの大切さを、高校生活で学びました。

## 現在

### ● 仕事の内容

現在、自動車部品製造業会社で自動車部品の設計を担当しています。部品の図面を作成し、品質に問題がないかを確認しながら、完成から納品までのスケジュール管理も行います。お客様との打ち合わせをはじめ、製造・品質管理・生産管理など多くの部署と連携し、部品が無事に納品されるまで全体を調整する仕事です。

職場では外国籍であることを意識する場面はなく、困ったときは周囲が助けてくれる働きやすい環境です。努力を続ければ、国籍に関係なく結果につながると感じています。

### ● 今の仕事を選んだ理由

日本に来てから20年間、同じ街で育ち、たくさんの友達ができました。地元で愛着があったため、地元の有名な企業で働きたいと思い、自動車部品製造業会社を選びました。

### ● これからの目標

今の会社でコツコツと仕事を頑張り、周囲から認められる存在になって、将来は会社を引っ張っていける人になりたいです。

## 後輩へメッセージ

何事にも一生懸命取り組んでいけば、必ず自分を評価してくれる人が現れます。だからこそ、勉強や部活を頑張ってください。12



ルーツ	ペルー
来日年	日本で生まれた
高校	〇〇高等学校 2024年3月卒業
進学	〇〇専門学校
就職先	2026年4月から 美容院に就職予定



Q. どんな子どもでしたか？

とても無邪気で明るく、  
イタズラ好きな子どもでした。



Q. 専門学校の1番の思い出はなんですか？

高校時代から憧れていたラ・セーヌマリアージュの  
ブライダルヘアショーに技術者として参加できたことです。

## 自己紹介

日本生まれの20歳。父は日系ペルー人、母はペルー人です。

小さい頃から美容やヘアアレンジに興味がありました。高校1年生の時にマクドナルドでアルバイトをし、幅広い世代の人と接する楽しさを知りました。その経験から「人と関わる仕事をしたい」と思い、美容師という夢につながりました。

高校時代には、オープンキャンパスに何度も参加して入試方法や学費を調べ、夢を実現するための準備を続けました。

現在は美容の専門学校に通い、ヘアやメイクの授業、ブライダルやヘアショーにも挑戦しながら、国家資格の取得をめざしています。

## 高校時代

### ● 高校時代に頑張ったこと

高校時代はとにかくチャレンジすることを大切にしました。生徒会や室長に立候補し、アルバイトにも挑戦しました。勉強にも力を入れ、3年間を通して好成績を保つことができました。

### ● もっとやっておいたら良かったこと

放課後に友だちと遊ぶ時間など、高校生の時しかできないことをもっと楽しめば良かったと思います。

また、日本語の表現や大人のマナーを学ぶ機会が少なかったので、もっと意識して学んでおけば良かったです。

## 現在

### ● 今の学校を選んだ理由

小さい頃から美容に興味があり、人と関わる仕事をしたいと思っていました。オープンキャンパスで授業や費用、入試方法を知り、「ここでなら夢を叶えられる」と感じて専門学校への進学を決めました。

### ● 学校でやりがいを感じる時

ハロウィンなどのイベントでヘアやメイクをしたり、ブライダルの授業でモデルにメイクをして写真を撮ったりする時に、とてもやりがいを感じます。憧れのヘアショーに出演できたことも大きな喜びです。

### ● これからの目標

まずは美容師の国家資格に合格することです。就職先も決まっているので、お客様と関わる中で経験を積み、技術を磨きながら、自分の視野を広げていきたいと思っています。

## 後輩へメッセージ

私は勉強に苦手意識がありましたが、夢が決まると頑張れるようになりました。努力すればするほど成績も上がり、自信につながります。

高校生活では、勉強も部活もアルバイトも、挑戦したことがすべて自分の力になります。大切なのはあきらめずに続けることです。今は夢がはっきりしていなくても大丈夫。まずは目の前のことに一生けんめい取り組んでみてください。その経験が必ず未来につながります。



ルーツ

ペルー

来日年

日本で生まれた

高校

〇〇高等学校  
2025年3月卒業

就職先

〇〇保育園



Q. どんな子どもでしたか？

とてもいたずら好きの、  
元気な子どもでした。



Q. 高校生活はどうでしたか？

高校生活はとても楽しく、思い出がたくさんあります。中でも放課後の時間が大好きで、友だちとバレーをしたり、集まって買い食いしながら話したりした時間が、特に印象に残っています。

## 自己紹介

小学生の時から「保育士になりたい」という夢を持っていました。子どもの頃に転校や学校に行けない時期があり、その時先生や周りの人に助けてもらった経験から、「人の役に立ちたい」と思うようになりました。高校生の時に保育園でインターンをして、子どもたちと関わる楽しさを知り、保育士をめざす気持ちが強くなりました。大学進学は難しかったけれど、「働きながら資格を取る」道を選び、今は〇〇市の〇〇保育園で働いています。

8月からは0歳児クラスを担当し、子どもたちと毎日楽しく過ごしています。

## 高校時代

### ● 高校時代に頑張ったこと

毎日しっかり学校に通いました。授業では手をあげて発言し、宿題や提出物も出しました。清掃活動やお祭りのサポートなど、ボランティア活動にも参加しました。

### ● もっとやっておいたら良かったこと

もっと国語を勉強しておけば良かったです。今、日本人の先生や同僚と働いていて、言葉の力が大切だと感じます。あと、遅刻しないことも大事だったと思います。

## 現在

### ● 仕事の内容

0歳児クラスでは、子どもたちの生活リズムや体調に配慮しながら、1日を安全に過ごせるよう保育を行っています。登園後は朝のおやつを食べ、天気や体調に合わせて室内や戸外で遊びます。十分に体を動かした後は給食をとり、順番にお昼寝へと誘導します。お昼寝中は、保育室の掃除や帰りの準備、おもちゃ作りなどを行います。午後はおむつ替えや着替えを行い、おやつの上に絵本の読み聞かせや手遊び、帰りの歌をうたって1日を締めくくります。

### ● 今の仕事を選んだ理由

小学生のころからの夢が保育士でした。高校での保育園インターンを通して「子どもと関わる楽しさ」を知り、働きながら資格をとれる制度があったので、この道を選びました。

### ● 仕事でやりがいを感じる時

子どもたちと毎日すごすことがとても楽しいです。保護者の方に通訳をして、困っていることが解決できたときは「役に立てた」と思えてとても嬉しいです。

### ● これからの目標

保育士の資格をとることが一番の目標です。子どもたちにとって「安心できる、頼れる先生」になりたいです。そして将来は、ほかの言語も勉強したいです。

## 後輩へメッセージ

「やればできる！」ということです。努力すれば、必ず結果が出来ます。学校に通って、ポジティブな気持ちで勉強すれば、何でもできるようになります。ときどきうまくいかないことがあっても大丈夫。大切なのは前向きな気持ちです。学校生活を楽しみながら、自分を信じてチャレンジしてください！



## Diverse Roots, Diverse Futures

あなたの未来のヒントがここにある



制作

NPO法人愛伝舎

〒510-0874 三重県四日市市河原田町2448-1  
✉ info@aidensha.org ☎ 059-390-1943

